

年 度	令和7年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	はりきゅう理論Ⅰ
担 当 教 員	佐原 俊作
カ リ キ ュ ラ ム 名	はりきゅう理論Ⅰ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸治療の概要を学ぶことを目的とする。鍼は鍼の種類、手技、刺鍼について、灸は艾の種類、施灸の種類について主に学習する。また、鍼灸治療についての刺激量、適応と限界、リスク管理について理解する。
到 達 目 標	鍼灸治療の概要、道具、リスク管理について説明できる。
成 績 評 価 方 法 及 び 基 準	単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う。 【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業) 11試験について【必要出席数】』に準ずる。
履 修 に あ た っ て の 注 意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	担当科目における教育上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学博士前期課程にて臨床鍼灸学を専攻 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2017年4月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2021年4月～ : 平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論 実務上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センター付属治療院での施術 2018年5月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校附属鍼灸院での施術 2021年4月～ : 平成医療学園専門学校附属鍼灸接骨院での施術

1	項 目	第1章 概論
	学習目標・ポイント	鍼灸施術の定義、鍼灸治療の特徴、鍼灸治療の定義と特徴を理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
2	項 目	第2章 鍼の基礎知識
	学習目標・ポイント	鍼と鍼管、古代九鍼、毫鍼各部の名称、長さ、太さ、材質、特徴、について理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
3	項 目	第3章 刺鍼の方式と術式
	学習目標・ポイント	刺鍼の方式と前揉、押手、刺手、切皮、刺入について理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
4	項 目	第4章 特殊鍼法
	学習目標・ポイント	小児鍼、皮内鍼、灸頭鍼、低周波鍼通電など特殊な鍼法について理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
5	項 目	鍼の小テスト／鍼の臨床効果
	学習目標・ポイント	第2～4章までの確認／鍼の効果の紹介、鍼療法の復習、鍼の効果を理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
6	項 目	第5章 灸の基礎知識
	学習目標・ポイント	もぐさの品質と種類、線香、それぞれの製造法について理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
7	項 目	第6章 灸術の種類
	学習目標・ポイント	有痕灸、無痕灸など灸の種類を理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
8	項 目	灸の小テスト／灸の臨床効果
	学習目標・ポイント	第5～6章までの確認 灸の効果を理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
9	項 目	第7章 リスク管理
	学習目標・ポイント	鍼療法の過誤と副作用を理解し、リスク管理を理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
10	項 目	第7章 リスク管理
	学習目標・ポイント	灸療法の過誤と副作用を理解し、リスク管理を理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
11	項 目	第7章 リスク管理
	学習目標・ポイント	感染症対策(施術者と患者の消毒)の重要性について理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
12	項 目	第7章 リスク管理
	学習目標・ポイント	感染症対策(器具の消毒と感染症の基礎知識)の重要性について理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
13	項 目	第7章 鍼灸の臨床応用
	学習目標・ポイント	刺激量と感受性を考慮し、鍼灸刺激量の調整について理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
14	項 目	鍼灸の臨床応用
	学習目標・ポイント	鍼灸療法の適応症と禁忌を理解し、臨床に応用する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	
15	項 目	リスク管理と臨床応用小テスト／臨床での医療事故
	学習目標・ポイント	臨床応用とリスク管理の復習、医療事故を理解する。
	使用する材料	はりきゅう理論(教科書)、自作プリント
	備考	

年 度	令和7年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	動物生理 I
担 当 教 員	内野容子
カリキュラム名	生理学 I
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	神経・筋の各章を概説し、これら各項目において身体の正常な生理機能の基本を学ぶ。 解剖学と同様に基礎科目であり、この知識を基に2,3年生で各疾患についての病態理解へ必要な知識を身につける。
到 達 目 標	①動物生理学の範囲について教科書を読み内容を理解することができる。 ②身体の正常な生理機能の基本を理解し、専門用語を正しく用いて、その機能の意義・重要性を説明できるようになる。
成績評価方法及び基準	必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 前期末試験80%+平常点(提出物・出席)20%の計100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 授業の妨害(私語、多科目の勉強、寝る)は、口頭で注意する。
教 育 ・ 実 務 業 績	1、担当科目における教育上の業績 平成15年4月～現在まで 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員 平成医療学園専門学校 鍼灸師科教員として在籍 平成17年4月～平成21年3月31日 大阪大学専修学校研修員 大阪大学 歯学部 解剖学教室にて解剖を行う。 2、実務上の業績(臨床経験等) 平成22年4月～平成23年3月31日 大阪大学歯学部附属病院 病院研修生 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 鍼灸研修生として在籍 頭頸部の痛みや麻痺の鍼灸治療を行う。

1 項 目	第10章 神経
学習目標・ポイント	A. ニューロンの構造と働き
使用する材料	教科書 p165～
備考	配布プリント
2 項 目	第10章 神経
学習目標・ポイント	B. 神経線維の興奮伝導
使用する材料	教科書 p167～
備考	配布プリント
3 項 目	第10章 神経
学習目標・ポイント	B. 神経線維の興奮伝導
使用する材料	教科書 p167～
備考	配布プリント
4 項 目	第10章 神経
学習目標・ポイント	C. シナプス伝達
使用する材料	教科書 p172～
備考	配布プリント
5 項 目	第10章 神経
学習目標・ポイント	C. シナプス伝達
使用する材料	教科書 p172～
備考	配布プリント
6 項 目	第10章 神経
学習目標・ポイント	D. 中枢神経系の分類と機能 E. 反射
使用する材料	教科書 p178～
備考	配布プリント
7 項 目	第10章 神経
学習目標・ポイント	G. 脳幹 H. 小脳
使用する材料	教科書 p184～
備考	配布プリント
8 項 目	第10章 神経
学習目標・ポイント	I. 視床 J. 視床下部
使用する材料	教科書 p186～
備考	配布プリント
9 項 目	第10章 神経
学習目標・ポイント	K. 大脳
使用する材料	教科書 p189～
備考	配布プリント
10 項 目	第10章 神経
学習目標・ポイント	M. 末梢神経系
使用する材料	教科書 p198～
備考	配布プリント
11 項 目	第10章 神経
学習目標・ポイント	N. 自律神経系
使用する材料	教科書 p201～
備考	配布プリント
12 項 目	第10章 神経
学習目標・ポイント	N. 自律神経系
使用する材料	教科書 p201～
備考	配布プリント
13 項 目	第11章 筋
学習目標・ポイント	A. 骨格筋の構造と働き
使用する材料	教科書 p218～
備考	配布プリント
14 項 目	第11章 筋
学習目標・ポイント	B. 筋の収縮の仕組み
使用する材料	教科書 p221～
備考	配布プリント
15 項 目	第11章 筋
学習目標・ポイント	C. 筋収縮のエネルギー D. 心筋と平滑筋
使用する材料	教科書 p223～
備考	配布プリント

年 度	令和7年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	基礎実技Ⅱ
担 当 教 員	比嘉 翔平
カ リ キ ュ ラ ム 名	基礎実技Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	灸治療の基礎を身につけ、患者に対し、安心・安全な施術ができるようにする。
到 達 目 標	灸治療の基礎ともいえる艾炷の作成(米粒大の大きさ・形・スムーズさ)、患者への配慮について学び、臨床基礎の基盤を身に付ける。
成績評価方法及び基準	<p>【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業)10試験について【必要出席数】』に準ずる。</p> <p>中間実技試験(30%)と単位認定実技試験(70%)を合わせて100%で評価を行う。</p>
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	<p>【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。</p>
教育・実務業績	<p>1、担当科目における教育上の業績 2018年4月～2020年3月: 明治国際医療大学大学院修士課程にて臨床鍼灸学を専攻 2018年4月～2020年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センター実習の臨床実習指導(3年生) 2018年4月～2021年3月: 明治国際医療大学にて講義・演習補助 科目: 臨床はりきゅう技術学Ⅱ(治効機序)およびキャリアデザイン 2020年4月～2023年3月: 明治国際医療大学大学院博士課程にて鍼灸学を専攻 2023年4月～現在に至る: 平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当</p> <p>2、実務上の業績(臨床経験等) 2018年4月～2023年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2019年4月～2021年9月: 京都桂川鍼灸院mythos361での施術(大学院)</p> <p>学会発表 2018年: 第67回全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会 学生ポスター発表(優秀賞) 2019年: 第68回全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会 一般ポスター発表 2021年: 第50回日本慢性疼痛学会 口演発表(Web発表) 2022年: 第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会 口演発表 2023年: 第72回全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 口演発表</p>

1 項 目	自己紹介・灸実技の準備物・物品確認
学習目標・ポイント	実技をするにあたり準備物の確認をする。
使用する材料	
備考	
2 項 目	艾の作成①
学習目標・ポイント	米粒大の大きさ・形を作成する。
使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾
備考	
3 項 目	艾の作成②
学習目標・ポイント	米粒大の大きさ・形を作成する。また、灸点の置き方、艾炷を垂直に置く方法を身に付ける。
使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾
備考	
4 項 目	透熱灸の実施
学習目標・ポイント	米粒大の艾炷を板の上に垂直に置き、施灸の基礎を学ぶ。また線香の取り扱いを学ぶ。
使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、施灸板
備考	課題用に施灸シートを配布(2枚)
5 項 目	知熱灸の実施
学習目標・ポイント	米粒大の艾炷を板の上に垂直に置き、八分灸の基礎を学ぶ。
使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、施灸板
備考	課題用に施灸シートを配布(2枚)
6 項 目	艾炷の大きさ・形の確認
学習目標・ポイント	2～5コマまでに実施した艾炷の作成に対して、指定された大きさ・形が作成できるか確認する。
使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、施灸板
備考	課題用に施灸シートを配布(2枚)
7 項 目	施灸シート(タイムトライアル)①
学習目標・ポイント	施灸シートに対して5分間で30壮以上の施灸を実施。
使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、施灸板
備考	課題用に施灸シートを配布(2枚)
8 項 目	施灸シート(タイムトライアル)②
学習目標・ポイント	施灸シートに対して5分間で30壮以上の施灸を実施。
使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、施灸板
備考	課題用に施灸シートを配布(2枚)
9 項 目	施灸シート(タイムトライアル)③
学習目標・ポイント	施灸シートに対して5分間で30壮以上の施灸を実施。
使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、施灸板
備考	課題用に施灸シートを配布(2枚)
10 項 目	施灸シート(タイムトライアル)④
学習目標・ポイント	施灸シートに対して5分間で30壮以上の施灸を実施。
使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、施灸板
備考	課題用に施灸シートを配布(2枚)
11 項 目	施灸シート(タイムトライアル)⑤
学習目標・ポイント	施灸シートに対して5分間で30壮以上の施灸を実施。
使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、施灸板
備考	課題用に施灸シートを配布(2枚)
12 項 目	施灸シート(タイムトライアル)⑥
学習目標・ポイント	施灸シートに対して5分間で30壮以上の施灸を実施。
使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、施灸板
備考	課題用に施灸シートを配布(2枚)
13 項 目	施灸シート(タイムトライアル)⑦
学習目標・ポイント	施灸シートに対して5分間で30壮以上の施灸を実施。
使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、施灸板
備考	課題用に施灸シートを配布(2枚)
14 項 目	試験説明、施灸シート(タイムトライアル)⑧
学習目標・ポイント	施灸シートに対して5分間で30壮以上の施灸を実施。
使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、施灸板
備考	課題用に施灸シートを配布(2枚)
15 項 目	試験説明、施灸シート(タイムトライアル)⑨
学習目標・ポイント	①施灸シート(米粒大:5分間、30壮以上)、②八分灸
使用する材料	線香、ライター、丸皿シャーレ、良質艾、施灸板
備考	

年 度	令和7年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床医学総論 I
担 当 教 員	西浦 絵美
カリキュラム名	臨床医学総論 I
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	臨床医学総論はいわゆる診断学として位置づけられているもので、患者の診察から診断までの思考過程を会得することが目的である。鍼灸師は、その診察的特徴からプライマリケアとしての役割を担うため、より患者の側にたった目線からの確かな鑑別診断を行い、患者や家族への心理社会的側面への配慮、予防医学的ケアを東西医学の知識の元で実践できるような知識の教授を行う。
到 達 目 標	治療者-患者の対応について理解できる。医療面接について理解できる。現代医学的診察技法の手法と意義を理解し説明できる。バイタルサインの意味を理解し異常について分かる。全身診察の手法と意義を理解できる。局所の診察の手法と意義について理解できる。一般臨床検査の項目と数値の意味を理解できる。各症候の分類や症状と疾患との関係について理解できる。物理療法や神経ブロックなどの治療法について知っている。心理療法について知っている。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』I 教務(授業) 10. 試験について【必要出席数】に準ずる。 中間試験30%、単位認定試験で75%の合計100%の評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	2010年4月～2012年9月 明治東洋医学院専門学校付属治療所の研修員として勤務 2010年4月～2012年3月 整形外科ひろクリニックに勤務 2012年10月～現在 平成医療学園専門学校にて解剖学・生理学・基礎実技・臨床医学総論・リハビリテーションなどの講義を行う

1 項 目	第1章 第2章
学習目標・ポイント	・医療面接とは何かを知っている ・POSを理解している ・身体診察の手法の概要を理解している
使用する材料	教科書
備考	
2 項 目	第3章 バイタルサイン:発熱、脈拍、不整脈、血圧、呼吸
学習目標・ポイント	・バイタルサイン ・熱型 ・頻脈、徐脈を呈する代表疾患。 ・アダムスストークス症候群・血圧の測定方法および高血圧分類
使用する材料	教科書
備考	
3 項 目	第3章 第4章 全身の診察
学習目標・ポイント	・疾患の特徴的な顔貌、体型 ・JCS、GCS ・肥満とやせ、るいそう
使用する材料	教科書
備考	
4 項 目	第4章 全身の診察:顔貌、精神状態、体型体格
学習目標・ポイント	異常歩行について
使用する材料	教科書
備考	
5 項 目	第4章 全身の診察:顔貌、精神状態、体型体格姿勢、歩行、皮膚・粘膜
学習目標・ポイント	浮腫、発疹について
使用する材料	教科書
備考	
6 項 目	第5章 局所の診察:頭部・顔面・頸部の観察、目耳鼻の診察
学習目標・ポイント	・眼瞼下垂 ・伝音性難聴と感音性難聴
使用する材料	教科書
備考	
7 項 目	第5章 局所の診察:目耳鼻の診察、口舌歯咽頭喉頭の診察
学習目標・ポイント	・口臭 ・コプリック斑 ・ジフテリアにおける咽頭部の症状 ・舌下神経麻痺、片麻痺における舌の偏位の所見 ・イチゴ舌 ・ハンター舌炎
使用する材料	教科書
備考	
8 項 目	第5章 局所の診察:頸部、胸部、乳房
学習目標・ポイント	・圧痛・疼痛を伴うリンパ節腫脹、伴わないリンパ節腫脹 ・甲状腺腫 ・バセドウ病と橋本病のちがい ・胸郭異常
使用する材料	教科書
備考	
9 項 目	第5章 局所の診察:肺・胸膜
学習目標・ポイント	・胸部打診、肺肝境界、正常呼吸音の種類 ・気胸と胸水の打診・聴診・声音振とう ・副雑音(う音・胸膜摩擦音)の特徴
使用する材料	教科書
備考	
10 項 目	第5章 局所の診察:心臓
学習目標・ポイント	・心尖拍動 ・心音の聴診部位 ・僧帽弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症における心音の違い ・心雑音について理解している
使用する材料	教科書
備考	
11 項 目	第5章 局所の診察:腹部
学習目標・ポイント	・腹膜炎、虫垂炎、急性胆のう炎に見られる触診の徴候 ・機械性イレウスと麻痺性イレウスの蠕動運動とグル音の違い
使用する材料	教科書
備考	
12 項 目	第5章 局所の診察:腹部
学習目標・ポイント	・腹水
使用する材料	教科書
備考	
13 項 目	第5章 局所の診察:背部、四肢
学習目標・ポイント	・四肢の変形
使用する材料	教科書
備考	
14 項 目	第6章 神経系の診察:知覚検査、反射検査、反射検査(深部反射、病的反射、錐体路障害)
学習目標・ポイント	・錐体路障害、下位運動ニューロン障害の違い ・錐体路障害、錐体外路障害の違い
使用する材料	教科書
備考	
15 項 目	第6章 神経系の診察:脳神経系検査、髄膜刺激症状
学習目標・ポイント	・髄膜刺激症状
使用する材料	教科書
備考	

年 度	令和7年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	東洋医学臨床論Ⅱ
担 当 教 員	比嘉 翔平
カ リ キ ュ ラ ム 名	東洋医学臨床論Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸師が臨床で遭遇しやすい疾患の病態、徒手検査法を理解する。その他、以下の内容も理解する。 ・鍼灸治療が適応か否か。注意すべき(病院受診を促すべき)疾患の理解。 ・前期は1年次に学習した病態・徒手検査に加えて配穴に重点を置く。
到 達 目 標	前期授業終了時には西洋医学的な病態、徒手検査、配穴が理解できている。 自ら疾患に対する徒手検査・治療法(配穴)を考えることができる。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」Ⅰ教務(授業)10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験80%、小テスト20%を合わせて100%として評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	1、担当科目における教育上の業績 2018年4月～2020年3月: 明治国際医療大学大学院修士課程にて臨床鍼灸学を専攻 2018年4月～2020年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センター実習の臨床実習指導(3年生) 2018年4月～2021年3月: 明治国際医療大学にて講義・演習補助 科目: 臨床はりきゅう技術学Ⅱ(治効機序)およびキャリアデザイン 2020年4月～2023年3月: 明治国際医療大学大学院博士課程にて鍼灸学を専攻 2023年4月～現在に至る: 平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 2、実務上の業績(臨床経験等) 2018年4月～2023年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2019年4月～2021年9月: 京都桂川鍼灸院mythos361での施術(大学院) 学会発表 2018年: 第67回全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会 学生ポスター発表(優秀賞) 2019年: 第68回全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会 一般ポスター発表 2021年: 第50回日本慢性疼痛学会 口演発表(Web発表) 2022年: 第44回日本疼痛学会・第2回日本術後痛学会 口演発表 2023年: 第72回全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会 口演発表

1	項目	前年度の復習
	学習目標・ポイント	前年度の授業内容について、どのくらい身につけているのか確認する。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
2	項目	運動器疾患①
	学習目標・ポイント	前年度の内容を復習し、対応する治療部位を覚える。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
3	項目	運動器疾患②
	学習目標・ポイント	前年度の内容を復習し、対応する治療部位を覚える。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
4	項目	運動器疾患③
	学習目標・ポイント	前年度の内容を復習し、対応する治療部位を覚える。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
5	項目	運動器疾患④
	学習目標・ポイント	前年度の内容を復習し、対応する治療部位を覚える。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	スポーツ外傷(上肢)
6	項目	運動器疾患⑤
	学習目標・ポイント	前年度の内容を復習し、対応する治療部位を覚える。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	スポーツ外傷(下肢)
7	項目	頭痛
	学習目標・ポイント	頭痛の鑑別ができ、病態・症状を理解する。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	筋収縮性頭痛、片頭痛、緊張性頭痛、群発性頭痛
8	項目	顔面痛・顔面神経麻痺
	学習目標・ポイント	顔面痛・顔面神経麻痺の鑑別ができ、病態・症状を理解し治療法を考えられる。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	三叉神経痛、末梢性顔面神経麻痺、中枢性顔面神経麻痺
9	項目	めまい・耳鳴り・難聴
	学習目標・ポイント	内耳の血流障害について理解できる。病態を把握し治療方針を考えられる。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	メニエール病、突発性難聴、良性発作性頭位めまい症、前庭神経炎、聴神経鞘腫
10	項目	歯痛、眼精疲労、鼻閉鼻汁、脱毛
	学習目標・ポイント	病態・症状を理解し治療方針を考えられる。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
11	項目	咳嗽・喘息・胸痛
	学習目標・ポイント	喘息、胸痛の病態・症状を理解する。また重篤症状、刺入深度についても理解する。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	気胸、喘息、肋間神経痛
12	項目	腹痛・悪心嘔吐・便秘・下痢
	学習目標・ポイント	腹部の疾患を理解し、鑑別ができる。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	胃炎、胃痙攣、GERD、便秘の3分類と治療、過敏性腸症候群
13	項目	排尿障害
	学習目標・ポイント	排尿異常の機序の理解、排尿障害の疾患の理解・鑑別・治療方針が考えられる。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	前立腺炎、神経因性膀胱、過活動膀胱、膀胱炎
14	項目	月経異常・更年期障害
	学習目標・ポイント	女性疾患全般の理解、鍼灸治療について理解できる。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	子宮内膜症、PMS、月経過多
15	項目	まとめ
	学習目標・ポイント	単位認定試験に向けて確認を行う。
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	

年 度	令和7年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	臨床実技 I
担 当 教 員	上野暁生
カリキュラム名	臨床実技 I
単 位 数 (時 間 数)	1 (30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	疾患に対する知識と検査を習得し、治療部位に適切に鍼灸治療を行うことを目的とする。各疾患に対して、主症状や鑑別ポイントを中心に解説し、徒手検査(必要に応じて、反射・知覚・筋力検査)を学習する。その後、治療部位に鍼灸治療を行う。
到 達 目 標	患者の主症状から必要な検査を行い病態把握し、適切な治療を行えるようになることを目標とする。
成績評価方法及び基準	前期単位認定試験成績を最終成績とする。 (前期単位認定試験にて徒手検査、はりきゅう実技を評価し60点以上を合格、59点未満を不合格とする。)
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 平成26年～現在 平成医療学園専門学校 附属鍼灸接骨院での施術 入職後の担当科目 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習

1 項 目	ガイダンス、頸部(頸椎症:外傷性頸部症候群・頸椎捻挫)
学習目標・ポイント	病態把握について必要な反射、触覚、筋力、関節可動域の概要を説明する。 疾患、検査(反射)、治療部位
使用する材料	プリント
備考	打鍵器、寸3-1番
2 項 目	頸部(頸椎症性神経根症・頸椎症性脊髄症・頸椎椎間板ヘルニア) ①
学習目標・ポイント	疾患病態の理解、必要な徒手検査、治療方法
使用する材料	プリント
備考	打鍵槌、寸3-1番、寸3-3番
3 項 目	頸部(頸椎症性神経根症・頸椎症性脊髄症・頸椎椎間板ヘルニア) ②
学習目標・ポイント	疾患病態の理解、必要な徒手検査、治療方法
使用する材料	プリント
備考	打鍵槌、寸3-1番、寸3-3番
4 項 目	胸郭出口症候群①
学習目標・ポイント	疾患病態の理解、必要な徒手検査、治療方法
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番
5 項 目	胸郭出口症候群②
学習目標・ポイント	疾患病態の理解、必要な徒手検査、治療方法
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番
6 項 目	肩関節障害(腱板損傷・腱板断裂)
学習目標・ポイント	疾患病態の理解、必要な徒手検査、治療方法
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番
7 項 目	肩関節障害(肩峰下インピンジメント・肩峰下滑液包炎)
学習目標・ポイント	疾患病態の理解、必要な徒手検査、治療方法
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番
8 項 目	肩関節障害(上腕二頭筋長頭腱炎)
学習目標・ポイント	疾患病態の理解、必要な徒手検査、治療方法
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番
9 項 目	上肢末梢神経障害①
学習目標・ポイント	疾患、検査、治療部位
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番
10 項 目	上肢末梢神経障害②
学習目標・ポイント	疾患、検査、治療部位
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番
11 項 目	試験説明・徒手検査復習
学習目標・ポイント	徒手検査に必要なスキルを身につける。
使用する材料	プリント
備考	打鍵槌など
12 項 目	鍼灸実技・取穴復習
学習目標・ポイント	鍼灸実技に必要なスキルを身につける。
使用する材料	プリント
備考	寸3-1番、寸3-3番、寸6-3番
13 項 目	上肢MMT①
学習目標・ポイント	検査(上腕二頭筋、腕頭骨筋、上腕三頭筋、浅指屈筋、深指屈筋、背側骨間筋、掌側骨間筋)
使用する材料	プリント
備考	
14 項 目	上肢MMT②
学習目標・ポイント	検査(上腕二頭筋、腕頭骨筋、上腕三頭筋、浅指屈筋、深指屈筋、背側骨間筋、掌側骨間筋)
使用する材料	プリント
備考	
15 項 目	総復習(頸部、胸郭部、肩部)
学習目標・ポイント	
使用する材料	
備考	

年 度	令和7年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	応用実技Ⅱ
担 当 教 員	木場宜子
カ リ キ ュ ラ ム 名	応用実技Ⅱ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	3年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	四診を用いて患者の証をたてることができる。(舌・脈状診・傷寒論系腹診) 問診では飲食・睡眠・二便・月経を中心に証決定に結びつけることができる問診ができる 刺鍼、施灸は基本を大事に、治療目標により変化させることができる。
到 達 目 標	脈診は比較脈診と脈状診の違いがわかる 傷寒論系腹診と難経系腹診の違いがわかる 横刺2センチができる
成績評価方法及び基準	単位認定試験と授業内評価(小テストやレポート)を合わせて100%で評価を行う。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	H17年 はり師きゅう師免許取得後、平成医療学園にて教員助手として勤務 H20年 はり師きゅう師教員免許取得後、平成医療学園にて教員として勤務 H20～ 4 26 鍼灸院開業 以後、令和7年現在に至るまで開業中 H19日本鍼灸史学会発表『呉氏医聖堂叢書における鍼灸』 H20日本鍼灸史学会発表『家庭に於ける実際的看護の秘訣の鍼灸』 H21日本鍼灸史学会発表『後藤流の灸法』 H22日本鍼灸史学会発表『香川流の灸法』 H23日本鍼灸史学会発表『名古屋玄医の灸法』 H24日本鍼灸史学会発表『和田東郭の灸法』 研究に関しては、6年間鍼灸史学会という小さな学会で少し発表する程度であるが、古典研究に詳しい諸先生方の指導など受けられたお陰で、現在、学生に対して鍼灸の歴史を学ぶ必要性、東洋医学の大切さを教える意義を感じられた。

1	項目	虚証の治療①(気血両虚中心)
	学習目標・ポイント	虚証の治療ポイントを学ぶ
	使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
	備考	
2	項目	1コマ目で学んだことを基に実際に施術する
	学習目標・ポイント	虚証の治療ポイントを学ぶ
	使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
	備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
3	項目	1コマ目で学んだことを基に実際に施術する
	学習目標・ポイント	虚証の治療ポイントを学ぶ
	使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
	備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
4	項目	虚証の治療②(腎精不足中心)
	学習目標・ポイント	虚証の治療ポイントを学ぶ
	使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
	備考	
5	項目	4コマ目で学んだことを基に実際に施術する
	学習目標・ポイント	虚証の治療ポイントを学ぶ
	使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
	備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
6	項目	4コマ目で学んだことを基に実際に施術する
	学習目標・ポイント	虚証の治療ポイントを学ぶ
	使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
	備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
7	項目	実証の治療①(肝鬱気滞・肝火上炎中心)
	学習目標・ポイント	虚証の治療ポイントを学ぶ
	使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
	備考	
8	項目	7コマ目で学んだことを基に実際に施術する
	学習目標・ポイント	実証の治療ポイントを学ぶ
	使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
	備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
9	項目	7コマ目で学んだことを基に実際に施術する
	学習目標・ポイント	実証の治療ポイントを学ぶ
	使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
	備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
10	項目	実証の治療②(痰湿中心)
	学習目標・ポイント	虚証の治療ポイントを学ぶ
	使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
	備考	
11	項目	10コマ目で学んだことを基に実際に施術する
	学習目標・ポイント	実証の治療ポイントを学ぶ
	使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
	備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
12	項目	10コマ目で学んだことを基に実際に施術する
	学習目標・ポイント	実証の治療ポイントを学ぶ
	使用する材料	寸3-1・寸3-3・散モグサ
	備考	施術者役、患者役はそれぞれ評価し合い、実習記録をおこなう
13	項目	東洋医学的な施術を行う。
	学習目標・ポイント	学生同士ペアを組み、治療を行う。
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	
14	項目	東洋医学的な施術を行う。
	学習目標・ポイント	学生同士ペアを組み、治療を行う。
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	
15	項目	東洋医学的な施術を行う。
	学習目標・ポイント	学生同士ペアを組み、治療を行う。
	使用する材料	鍼、温灸器、棒灸、散モグサ
	備考	

年 度	令和7年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	外科・整形
担 当 教 員	迫 宏典
カ リ キ ュ ラ ム 名	臨床医学各論Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	教科書をベースに国家試験に対応した知識および臨床現場にて頻繁に遭遇する外傷・障害の知識を養う。
到 達 目 標	はり師・きゅう師国家試験に出題が予想される外科疾患・整形外科疾患・麻酔科学について理解を深め、国家試験過去問を確実に解けるようにする。また、臨床において頻繁に出会う疾患についても理解を深める。
成績評価方法及び基準	成績評価は以下の方法にて行い、基準を満たした者に単位認定を行う。(「教員便覧」参照) 1) 後期単位認定試験にて基準点(60%)を満たすこと。 2) 1)において不合格となった者については、実施する後期単位認定再試験において基準点(60%)を満たすこと。(*採点は60点を上限とする) 3) 1)を正当な理由で欠席した者については、実施する後期単位認定追試験において基準点(60%)を満たすこと。(*採点は80点を上限とする)
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	外科学・整形外科学は国家試験科目の臨床医学各論に含まれる内容である。国家試験科目の配点割合も大きく、重要な科目となる。また、東洋医学臨床論の運動器系疾患に関する問題と関わる部分も出てくるため、理解を深めておく必要がある。 外科学・整形外科学では運動器系疾患を対象とする科目であるため、解剖学(特に、筋学・骨学・脈管学・神経学)については予習および復習を行い、理解をした上で講義に挑むことを薦める。 本科目では、麻酔科学(総論)に関する内容も含むため、生理学についても予習・復習を行うことを薦める。
教育・実務業績	[職歴] 平成28年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 契約教員 (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰなど) 平成29年 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校 専任教員(～現在に至る) (担当科目:骨学、脈管学、外科・整形、運動学、臨床実技Ⅰ、総合実技Ⅰ など) [学会発表] 平成27年 (公社)全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会一般演発表「温熱療法に円皮鍼刺激を併用することで運動負荷による下腿後足部皮膚表面温低下を遅延させることができるのか。- 無刺激、偽円皮鍼刺激との比較 -」 平成28年 第33回 日本サーモロジー学会 一般演題発表「スポーツ競技者に対する円皮鍼刺激の下腿後足部皮膚温への影響について - 偽円皮鍼刺激、無刺激との比較検討 -」 [研究歴] 平成28年 大阪大学歯学部解剖見学実習学生引率(～現在) 平成31年 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講義 専修学校研修員(～現在) 平成31年 関西医療大学大学院 準研究員(～令和2年) [業 績] 令和3年 大阪府私学教育功労者表彰 [実務経験] 平成28年 平成医療学園付属鍼灸接骨院 勤務(～現在)

1 項 目	第13章 その他の領域 B. 一般外科 損傷概論(熱傷/凍瘡と凍傷)
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書(臨床医学各論)p288-、配布資料
備考	
2 項 目	第8章 整形外科疾患 H. 外傷[骨折・脱臼・捻挫](総論)
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書(臨床医学各論)p173-、配布資料
備考	
3 項 目	第8章 整形外科疾患 H. 外傷[骨折・脱臼・捻挫](上肢・下肢)
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書(臨床医学各論)p173-、配布資料
備考	
4 項 目	第8章 整形外科疾患 C. 代謝性骨疾患・骨腫瘍
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書(臨床医学各論)p133-、配布資料
備考	
5 項 目	第8章 整形外科疾患 B. 関節疾患
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書(臨床医学各論)p124-、配布資料
備考	
6 項 目	第8章 整形外科疾患 D. 筋・腱疾患
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書(臨床医学各論)p141-、配布資料
備考	
7 項 目	第8章 整形外科疾患 E. 形態異常
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書(臨床医学各論)p147-、配布資料
備考	
8 項 目	第8章 整形外科疾患 F. 脊椎疾患①
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書(臨床医学各論)p157-、配布資料
備考	
9 項 目	第8章 整形外科疾患 F. 脊椎疾患②
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書(臨床医学各論)p157-、配布資料
備考	
10 項 目	第8章 整形外科疾患 G. 脊髄損傷
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書(臨床医学各論)p171-、配布資料
備考	
11 項 目	第8章 整形外科疾患 I. その他の整形外科疾患
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書(臨床医学各論)p186-、配布資料
備考	
12 項 目	第8章 整形外科疾患 H. 外傷[スポーツ外傷・障害]①
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書(臨床医学各論)p173-、配布資料
備考	
13 項 目	第8章 整形外科疾患 H. 外傷[スポーツ外傷・障害]②
学習目標・ポイント	外傷・障害の基本的な病態を解剖生理学的に理解する。
使用する材料	教科書(臨床医学各論)p173-、配布資料
備考	
14 項 目	第13章 その他の領域 麻酔科(総論)
学習目標・ポイント	麻酔の種類および方法、適応疾患、一般的な薬剤について理解する。
使用する材料	配布資料
備考	
15 項 目	国家試験問題演習 総復習
学習目標・ポイント	国家試験問題に対応できること、知識の定着を目標とする。
使用する材料	配布資料
備考	

年 度	令和7年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	東洋医学臨床論Ⅲ
担 当 教 員	上野 暁生
カ リ キ ュ ラ ム 名	東洋医学臨床論Ⅲ
単 位 数 (時 間 数)	2(30)
配 当 年 次	2年次
部	昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部
授 業 形 態	講義
開 講 期 間	後期
授 業 概 要 ・ 目 的	鍼灸師が臨床上遭遇しやすい疾患の東洋医学的な病態、配穴を理解する。その他以下の内容も理解する。 ・鍼灸治療適応か否か、注意すべき(病院受診を促すべき)疾患の理解。 ・後期は東洋医学的な病態(弁証論治)、配穴に重点を置く。
到 達 目 標	後期授業終了時には東洋医学的な病態(弁証論治)配穴が理解出来ている。 疾患に対し自らに弁証論治を行い、治療法(配穴)を考えることが出来る。
成績評価方法及び基準	【全科目共通事項】 必要出席数『学生のしおり』Ⅰ教務(授業) 10試験について【必要出席数】』に準ずる。 単位認定試験で100%の評価を行う。又は、試験70%、小テスト20%、レポート10%等、単位認定試験と授業内評価を合わせて100%で評価を行う等。
履修にあたっての注意 (受講者へのメッセージ)	【全科目共通事項】 『学生のしおり』Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教育・実務業績	平成24年 明治国際医療大学 鍼灸学科 卒業 平成26年 明治国際医療大学大学院 臨床鍼灸学 卒業 平成26年 平成医療学園専門学校入職 平成26年～現在 平成医療学園専門学校 附属鍼灸接骨院での施術 入職後の担当科目 東洋医学臨床論 東洋医学的な四診実技 臨床実習

1	項目	東洋医学概論の復習
	学習目標・ポイント	東洋医学概論の授業内容についてどのくらい身に付いているのか確認
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
2	項目	東洋医学概論の復習
	学習目標・ポイント	東洋医学概論の授業内容についてどのくらい身に付いているのか確認
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
3	項目	東洋医学概論の復習
	学習目標・ポイント	東洋医学概論の授業内容についてどのくらい身に付いているのか確認
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
4	項目	肩こり
	学習目標・ポイント	肩こりの東洋医学的分類を理解し鑑別できる。風寒邪、肝血虚、寒飲、気滞血瘀
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
5	項目	腰痛
	学習目標・ポイント	腰痛の3つの東洋医学的タイプの症状を理解し治療ができる。気滞血瘀、寒湿邪、腎気虚、腎陽虚、肝腎陰虚
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
6	項目	頭痛①
	学習目標・ポイント	頭痛の東洋医学的考え方の分類を理解し鑑別できる。また治療穴を考え配穴ができる。外感性の頭痛、肝火上炎、肝陽上亢
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
7	項目	頭痛②
	学習目標・ポイント	頭痛の東洋医学的考え方の分類を理解し鑑別できる。また治療穴を考え配穴ができる。気血両虚、痰濁、腎虚、瘀血
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
8	項目	痺証①(関節痛)
	学習目標・ポイント	痺証について理解できる。痺証の分類ができる。行痺、着痺、痛痺、熱痺
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
9	項目	痺証②
	学習目標・ポイント	痺証について理解できる。痺証型か否か鑑別できる。肝腎陰虚、腎陽虚、骨痺
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
10	項目	悪心、嘔吐
	学習目標・ポイント	東洋医学的考え方の分類を理解し鑑別できる。気虚便秘、血虚便秘、胃熱による便秘、気滞便秘、肝脾不和、脾腎陽虚
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
11	項目	食欲不振
	学習目標・ポイント	食欲不振の東洋医学的分類を理解し鑑別できる。胃陰虚、脾胃湿熱
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
12	項目	便秘
	学習目標・ポイント	便秘の分類を理解し鑑別が出来る。主な病証を理解し治療が出来る。熱秘、氣秘、虚秘、冷秘
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
13	項目	下痢
	学習目標・ポイント	下痢の分類を理解し鑑別が出来る。主な病証を理解し治療が出来る。外邪、傷食、肝鬱、脾胃虚弱、腎陽虚
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
14	項目	月経異常
	学習目標・ポイント	奇形八脈についての理解。月経異常の分類を理解し鑑別出来る。経早、経遅、経乱
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	
15	項目	全範囲のまとめ
	学習目標・ポイント	単位認定試験に向けて確認を行う
	使用する材料	プリント・教科書
	備考	

年 度	令和7年度
学 科	鍼灸師科
開 講 科 目 名	基礎実技 I
担 当 教 員	佐原 俊作
カ リ キ ュ ラ ム 名	基礎実技 I
単 位 数 (時 間 数)	1(30)
配 当 年 次	1年次
部	昼間 I 部 ・ 昼間 II 部
授 業 形 態	実技
開 講 期 間	前期
授 業 概 要 ・ 目 的	1.医療人として相応しい態度を身に付ける。 2.鍼の安全性に対する正しい知識を身につける。 3.鍼の基本的な手技(刺鍼の一連の流れ)を学ぶ。
到 達 目 標	1.相応しい態度とは、清潔な身嗜み、言葉使い、授業態度を身に付ける。 2.感染防止や有害事象に対するリスク管理に対する正しい知識を身につける。 3.①片手挿管及び直刺・斜刺・横刺が正確にできる。 ②一連の流れに従って刺鍼練習台に衛生的な刺鍼ができる。
成 績 評 価 方 法 及 び 基 準	【全科目共通事項】 必要出席数『「学生のしおり」I 教務(授業) 11試験について【必要出席数】』に準ずる。 授業内評価を行う。
履 修 に あ た っ て の 注 意 (受 講 者 へ の メ ャ ッ セ ー ジ)	【全科目共通事項】 『「学生のしおり」Ⅲ学内生活 3受講の心得について』に従うこと 無断で教室からの退出を禁止する。 水分の摂取は許可するが、食事は禁止する。 詳しくは初回に説明する。
教 育 ・ 実 務 業 績	担当科目における教育上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学博士前期課程にて臨床鍼灸学を専攻 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センターにて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2017年4月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校にて鍼灸科講義を担当 担当科目: はりきゅう理論、臨床実習、臨床医学総論、公衆衛生学など 2021年4月～ : 平成医療学園専門学校にて鍼灸師科講義を担当 担当科目: 基礎実技 実務上の業績 2011年4月～2013年3月: 明治国際医療大学附属鍼灸センターでの施術(大学院生) 2013年4月～2017年3月: 京都府立視力障害者福祉センター附属治療院での施術 2018年5月～2021年3月: 札幌スポーツ&メディカル専門学校附属鍼灸院での施術 2021年4月～ : 平成医療学園専門学校附属鍼灸接骨院での施術

1 項 目	鍼灸用具についてと実技授業の心構え
学習目標・ポイント	授業時の服装、実技前の準備と実技終了時の片付
使用する材料	プリント(授業中の注意事項、実技室使用の注意事項)
備考	
2 項 目	管鍼法:両手挿管法と片手挿管法①
学習目標・ポイント	鍼の起源について:管鍼法と撚鍼法の違いを理解し、管鍼法の基本手技を学ぶ
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
3 項 目	管鍼法:片手挿管法②
学習目標・ポイント	片手挿管法の一連の流れを理解する:押手、切皮弾入
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
4 項 目	刺鍼の一連の流れ①
学習目標・ポイント	前揉法~押手~弾入~切皮~抜鍼~後揉法~片手挿管
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
5 項 目	刺鍼の一連の流れ②
学習目標・ポイント	刺入:送り込み刺法・旋撚刺法
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
6 項 目	刺鍼の一連の流れ③
学習目標・ポイント	刺鍼の角度:直刺・斜刺・横刺
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
7 項 目	刺鍼中の手技①:鍼術の手技について理解する。
学習目標・ポイント	①単刺術②雀啄術③間歇術④屋漏術⑤振戦術
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
8 項 目	刺鍼中の手技①:鍼術の手技について理解する。
学習目標・ポイント	⑥置鍼術⑦旋撚術⑧回旋術⑨乱鍼術
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
9 項 目	刺鍼中の手技②:鍼術の手技について理解する。
学習目標・ポイント	⑩副刺激術⑪示指打法⑫随鍼術⑬内調術
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	M4:浅刺-呼吸時-坐位の刺鍼
10 項 目	刺鍼中の手技②:鍼術の手技について理解する。
学習目標・ポイント	⑭細指術⑮管散術⑯鍼尖転移法⑰刺鍼転向法
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
11 項 目	実技チェック
学習目標・ポイント	片手挿管、刺入法(送り込み刺法・旋撚刺法)
使用する材料	DS鍼:寸6-2
備考	
12 項 目	手指の消毒と刺鍼部の消毒
学習目標・ポイント	自身の下肢に刺鍼
使用する材料	DS鍼:寸3-1、寸6-3(各3本/人)
備考	
13 項 目	片手挿管トライアル、刺入法、刺入角度
学習目標・ポイント	自身の下肢に刺鍼
使用する材料	DS鍼:寸3-1、寸6-3(各3本/人)
備考	
14 項 目	片手挿管トライアル、刺入法、刺入角度
学習目標・ポイント	自身の下肢に刺鍼
使用する材料	DS鍼:寸6-3(3本/人)
備考	
15 項 目	片手挿管トライアル、刺入法、刺入角度
学習目標・ポイント	自身の下肢に刺鍼
使用する材料	DS鍼:寸6-3(3本/人)
備考	